

第 2 回 淡路市都市計画マスタープラン策定会議 主な意見とその対応案

No.	主な意見	対応案
1	<ul style="list-style-type: none"> アンケート調査の年齢別回答者比率が実際の市民の比率とは異なっていることに注意が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 市民の方に誤解を招かないよう、アンケート結果の留意点として、その偏りについて明記する。 課題等の整理に関しては、全体集計だけでなく、年代別クロス集計による若い世代などの意識・意向も考慮する。
2	<ul style="list-style-type: none"> 現行のマスタープランのまちづくりの市民参加について、ワークショップ形式で各地域の意見交換等を行うことが有効であると記載されていたが、実際にはその方法が行われていなかった。なぜ過去 10 年間行われなかったのかを確認したい。 	<ul style="list-style-type: none"> これまで地域との関わりが全くなかったわけではなく、町内会組織が存在し、地域の方々からの要望を受けて課題を挙げ、解決に向けて取り組んできた。ワークショップの形式ではないが、地域とのつながりを持つ活動は行われてきている。(回答済み)
3	<ul style="list-style-type: none"> 資料 7 の P11 にある「地域コミュニティレベルのまちづくりが重要になりつつあり」という記載について、10 年前にすでに指摘されていた点を考慮すると「重要になりつつあり」という表現は正しくない。 	<ul style="list-style-type: none"> 「地域コミュニティレベルのまちづくりの重要度は高まりつつあり、都市づくりの分野においても市民、事業者、行政が互いに参画し、協働する取組をより一層推進していくことが求められます。」に表現を改める。
4	<ul style="list-style-type: none"> 負担感を負わせることなく若い人々の意見をどう集めるかが重要な課題であり、地域の若い人たちが関心を持ちやすい形で意見を聞く方法を模索することが求められる。 	<ul style="list-style-type: none"> 10 月に予定している地域別説明会においてワークショップの実施を予定しているが、そこに 10 代の方も参加できるようにして、若者の意見も聴取できる機会を設けたい。
5	<ul style="list-style-type: none"> 今後の防災計画を市民が中心となって考えていく必要がある。特に、南海トラフ地震のような大規模災害が起こった場合の備えが必要ではないか。 20 年後を見据えた計画であれば、地域ごとの防災対策や空き家対策などの課題にも触れるべきだろう。 	<ul style="list-style-type: none"> 分野別方針と地域別構想において、防災や空家対策等の方針を盛り込む。
6	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画マスタープランにおいて、市民の参画と共同が最も重要。 市が持っている情報をどのように市民に公開するか、より効果的な方法を検討することが必要。例えば、デジタルツールの活用や、定期的な市民説明会、各種メディアを通じた情報発信など、幅広い手段を組み合わせ、市民が情 	<ul style="list-style-type: none"> 最終章の「計画の実現化方策」において、ご提案の内容を含めて市民参加を促進するための取組を位置づける。

No.	主な意見	対応案
	報にアクセスしやすい環境を整えるなどできると良い。	
7	<ul style="list-style-type: none"> ・田舎では町内会の存続自体が難しい状況となっている。 ・これから住民の高齢化が進み、情報公開や共有が難しくなるため、地域内でリーダーを育成することが重要だと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化・人口減少による自治会役員の担い手不足など、地域によって具体的にどのような課題が生じているのかを把握した上で、それぞれの特性に応じた持続可能な地域づくりに向けた地域別構想を検討する。
8	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会の実力や運営方法にばらつきがある場合、規約の作成など市の伴走支援が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会活動については、都市づくり以外の分野も含めた維持、活性化に関係課と連携しながら支援を検討する。
9	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会活動は補助金があってこそその取り組みであり、私の地域では小学校もなく、補助金もないため、状況は厳しい。さらに、行事も少なくなってきており、町内会の維持がますます難しくなっている。その中で、どうやって町内会を維持し、地域をつなげていくかが大きな課題である。 	
10	<ul style="list-style-type: none"> ・電話してもタクシーが来ないという問題がある。淡路市には多くの集落が存在しているが、20軒にも満たない集落もあり、これまでの活動が続けられなくなっている。小さな集落では壊滅的な状況が起こりつつあり、ため池の管理なども難しくなっている。今後の計画を立てる際には、高齢者が住み続けられる環境を考慮した計画を作るべきではないか。 	